

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

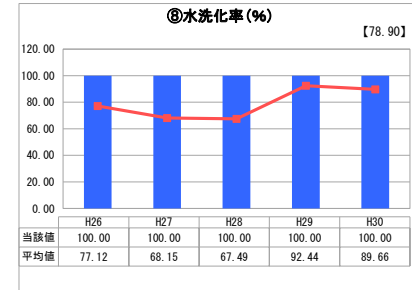
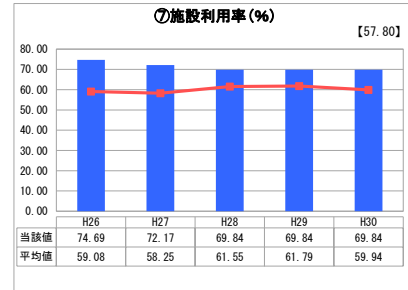
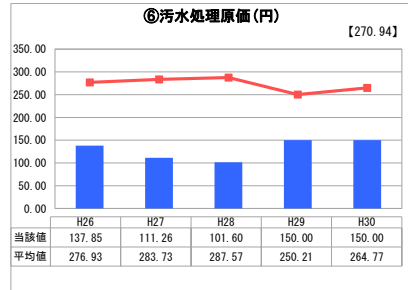
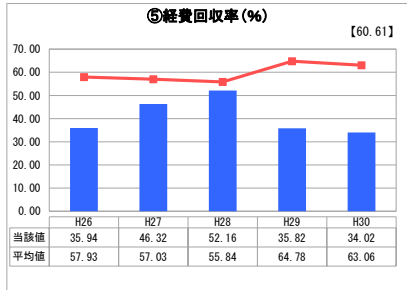
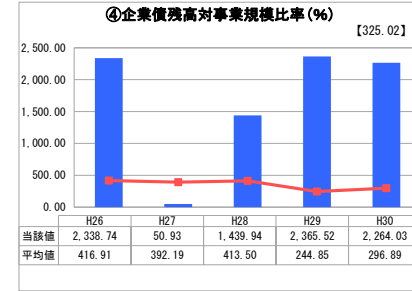
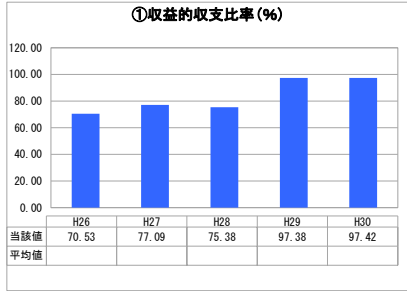
石川県 志賀町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金 (円)
8.60	該当数値なし	5.16	100.00	1,260

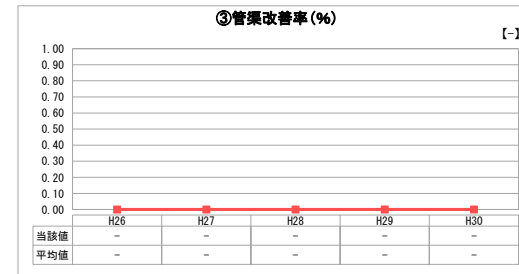
人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
20,470	246.76	82.96
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
1,047	0.22	4,759.09

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率  
概ね横ばい傾向にあるが、今後においては料金収入の増加を見込めないため、維持管理費等の削減に一層努めていく必要がある。

④企業債残高対事業規模比率  
本事業は整備が完了しているため、新たな企業債の発行はなく、数値は年々減少していくと見込まれる。

⑤経費回収率  
使用料体系が定額料金であるため、急激な使用料収入の減少はないものの、増加も期待できないため層の維持管理費のコストカットに努める。

⑥汚水処理原価  
本事業において汚水処理原価は過去年間で150円/m<sup>3</sup>で推移している。浄化槽施設の老朽化により関係機器の修理、更新費用が増加しているため汚水処理原価が高くなっていると思われる。

⑦施設利用率  
平均値を上回っている状況にあり、このままの水準を保って運営したい。

⑧水洗化率  
水洗化率については浄化槽事業のため100%である。

### 2. 老朽化の状況について

本事業により整備を行った合併浄化槽も15年以上経過したものが多くなり、年々プロア等の機器、本体の蓋の老朽化による破損が発生する様になり修繕費用が増加してきている。これらの修繕費用が上記指標の数値にも影響を与えている。

## 全体総括

企業債残高については、順調に償還が進んでいるが、施設の老朽化により維持管理費が増大している。このため定額制となっている使用料金の見直しが必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。